

会 議 録

- 1 会 議 名 木更津市立公民館運営審議会第3回定例会
- 2 開 催 日 時 令和4年12月21日(水)14時00分～16時45分
- 3 開 催 場 所 木更津市立中央公民館 B館3階多目的ホール
- 4 出席者氏名【公民館運営審議会委員】14名

座間 良彦 石川 泰子 石田美穂子 青木 健 市川 一成
実形 昭夫 鈴木 正 清水 正夫 原田 洋子 加山 恒夫
小倉 博史 岩田 眞爾 山下紀世美 鶴岡 俊之

【公民館長】14名

水越 学 (中央公民館) 佐々木英之 (東清公民館)
渡邊 祐二 (富来田公民館) 多賀 一也 (清見台公民館)
佐藤 千明 (鎌足公民館) 松本 明子 (畑沢公民館)
岡田 清治 (中郷公民館) 前田 達哉 (岩根西公民館)
星野 隆弘 (富岡公民館) 江尻 益男 (西清川公民館)
小倉 敏幸 (文京公民館) 河野 勝 (波岡公民館)
石井 一彦 (八幡台公民館) 市原 浩 (桜井公民館)

【金田地域交流センター】

江澤 茂典(金田地域交流センター長)

【事務局職員】4名

山下要一郎 (中央公民館副館長)
進藤 颯 (中央公民館事務員)
宮城三津子 (会計年度任用職員)
長谷川 彰久(会計年度任用職員)

- 5 議題及び公開又は非公開の別 公開

議案第1号 令和4年度公民館文化祭(まつり)及び文化祭視察研修の実施結果について

- ・その他報告及び連絡事項
- ・グループトーク「木更津市の公民館を取り巻く現状と課題について」

- 6 傍聴人の数 1人

- 7 会議概要 以下のとおり

事務局より、出席者数が2分の1以上に達した(20名の定員に対して14名の出席)ので、本会議が成

立したこと、及び、本会議は公開制であることを報告し、令和4年度木更津市立公民館運営審議会第3回定例会を開会する。委員長挨拶の後、議長により議案審議に入る。

議案第1号 令和4年度公民館文化祭(まつり)及び文化祭視察研修の実施結果について

青木委員長 それでは、これより議事を進めさせていただきます。

議案第1号「令和4年度公民館文化祭(まつり)及び視察研修の実施結果について」審議を行います。今年度の各地区文化祭に関して、主な取り組みや、特徴的な内容、その成果と課題等について、各地区公民館長より簡潔に3分以内で報告をお願いいたします。

なお、5館ごとに区切りその都度委員より質問、意見を求めます。はじめに、中央、富来田、岩根、鎌足、中郷公民館からお願いします。

各公民館の文化祭の実施結果については、事前に配布しております事業報告及び決算報告を、ご覧ください。

では、最初に、中央公民館水越館長、お願いいたします。

水越中央公民館長

中央公民館です。令和4年度については、文化祭が開催できたことが、一番の成果だと思っています。実行委員会でも、話し合いを重ねましたが、できることをやっていこうということになりました。詳細は資料のとおりですが、展示を中心とした開催ではありますが、発表や限定的ではありますがイベントも実施することができました。ゲーム体験コーナーにつきましては、親子の参加も多く、大変盛り上がりました。来年度はさらに地域交流を促進させ、地域コミュニティの再生に向けて、さらに充実した内容になるよう、進めてまいります。

青木委員長

では、次に富来田公民館渡邊館長、お願いします。

渡邊富来田公民館長

富来田公民館です。まちづくり協議会・区長会・地域団体・経験者に集まっていただいて、公民館で組織役員構成を検討しました。承認を得た団体等の代表などに実行委員役員を就任依頼し、9月に第1回実行委員会を開催しました。そこで、規模は縮小するも、10月29日(土)、30日(日)の2日間で開催を決定しました。開催の主な内容は、29日(土)展示発表とコミュニティカフェ、30日(日)展示発表、コミュニティカフェは継続、芸能発表、イベント(ゲーム・フリーマーケット・ものづくり体験)を開催しました。

事務局を預かる公民館としては、模擬店もなく、規模も縮小していることから、観覧者も少ないだろうと予測しましたが、2日目は、敷地内の駐車場は満車状態となり、予想を超える盛況でした。

参加者名簿、ちらしの配布状況等を加味し、1200名程の参加者を得た状況である。例年20

00人を超える盛況であるので、新型コロナ禍前のような状況ではないが、少なくともデジタル対応したコミュニティが急速に進む中、対面でのコミュニティを求めている地域住民が多くいる事を改めて感じた次第です。また想定外の参加来場者を迎え、特に駐車場の係り配置など、参加団体が縮小しても、想定外の参加来場者を迎え、特に駐車場係の配置など、準備の不十分さが問題となりましたので、8月より通常の運営準備を考える必要を実感しました。

青木委員長

では、次に岩根公民館ですが、相場館長欠席のため、事務局お願いします。

事務局

相場館長欠席ですので、事務局でいただいている原稿を代読いたします。

第65回岩根東地区文化祭は、地域区長会と公民館利用団体サークルで組織された実行委員会を中心に、「つなげよう岩根 広げよう豊かな心」をテーマに掲げ、3年ぶりの開催となりました。感染対策を講じながら、10月29日(土)30日(日)の2日間実施いたしました。

公民館では、11団体・サークルと7名の個人出展による展示が行われました。また、呈茶席・オセロ大会のイベントが29日(土)に行われました。岩根公民館には約480名の方が来館されました。

岩根中学校では、体育館に小中学校の児童生徒の作品展示と、30日(日)に模擬店やウォークラリーのイベント、そして各サークルの発表が行われました。模擬店では、手作り作品やパンの販売、釣り、輪投げ、水中コイン落とし、お菓子の袋詰め、ビンゴゲームなど大盛況でした。発表では、11団体・サークルの発表が行われ、多くの方に日頃の成果をご覧いただくことが出来ました。岩根中学校には約630名の方がご来場になりました。小中学生や地域の方々の様子から、地域での行事を待っていたかのように感じられる、生き生きとした表情が見られました。また、多くの方から喜びの声が聞かれました。

いずれにしましても、文化祭を通して、文化の香り高く、心豊かで潤いのある地域社会づくりと地域住民のつながり、心と心のふれあいを図るという目的を十分に達成することが出来たのではないかと考えます。来年度に向け、今年度の反省に基づいて、方法や活動内容等を改めて検討して参りたいと考えております。

青木委員長

では、次に鎌足公民館佐藤館長、お願いします。

佐藤鎌足公民館長

今年は新型コロナの影響で2年間中止が続いた文化祭を3年ぶりに開催することができました。しかし、コロナ禍の影響はまだ残り、参加を断念するサークルがあったり敬老会中止による鎌足恒例のトラック荷台ステージでの芸能発表・餅まきの中止があったりして例年より小規模な文化祭でした。そのような状況の中でしたが、新しい試みとしてサークルの発表を大型モニタ

ーを使って動画放映で行ったことは今後につながる成果をあげることができました。

芸能発表がないことから例年より来場者は減少しましたが、2日間で300名を超える来場者がありました。特に2日目は模擬店の出店もあって賑わいを呈し、予想した数量を早々に完売してしまったとの出店者の感想もありました。

反省会では、例年屋外にステージを設置して行っている芸能発表・敬老会は天候による影響や熱中症の問題などから来年以降小学校体育館での開催にしてはどうかという意見や、文化祭テーマを公募にしてはどうかということなどが出され、今後の課題として検討していくことになりました。いずれにしましても、できることをできる範囲で行い成果を上げることができた文化祭だった言えると思います。

青木委員長

では、次に中郷公民館岡田館長、お願いします。

岡田中郷公民館長

10月22日(土)・23日(日)の両日、「みんなで咲かそう 中郷文化の花」をテーマに、公運協・公民館利用サークルで構成されます中郷地区文化祭実行委員会により、「中郷地区文化祭」が開催されました。感染対策を施しながら作品展示を中心とした開催になりましたが、260名の方々にご来場いただきました。

地域内の小学校児童と二つの保育園々児の作品展示をはじめ、サークル作品展示の絵手紙・クラフト・太巻き寿司や個人作品のクラフト・パッチワーク・人形などの展示を行いました。

反省会では、カーテン等が無く光が入ってしまい作品が見にくい、や、サークルの方々の高齢化に伴い、準備場所と展示場所が離れているとつらいので、来年度以降の開催も、公民館での開催を希望するとのお声をいただきました。来年度の開催に向け、内容等を吟味しながら、検討していきたいと考えております。

青木委員長

ただいまの館長の説明に対して、ご質問やご意見や気づいたことについて、挙手のうえ、氏名を述べてから発言をお願いいたします。

発言無し。

青木委員長

では続いて富岡、文京、八幡台、東清、清見台公民館お願いします。

まずは、富岡公民館星野館長、お願いします。

星野富岡公民館長

第43回富岡地区文化祭は、4年ぶりの開催となりましたが、感染対策を施しながら無事に実施することができました。展示に関しては、10月22日(土)から29日(土)まで一週間行いましたが、

期間中は幅広い世代や地区外からも見学に来られ、より多くの人にサークルや子どもの作品、日ごろの公民館活動の様子や学習成果をスライドの映像と併せてご覧いただくことができました。また、最終日の10月29日(土)は、創作紙芝居「兎献上」の上演や手作り陶器の販売をはじめ、旧JA倉庫前で木更津諏訪太鼓、ふくた保育園児による鼓笛の演奏が行われ、通りがかりの人も立ち止まって聴かれるなど、良い天気にも恵まれ、100名を超える地域内外の方々に鑑賞していただきました。

新型コロナウイルス感染防止のため、呈茶会や飲食の提供、当初検討した地元農産物の即売は、準備の関係で見合わせとなりましたが、反省会では、スケジュールや会場の割り振りなど、全体的に余裕をもって取り組めたという感想も聞かれました。

いずれにしましても、文化祭を通して富岡地区の文化や魅力をいっそう発信していけるよう、来年度に向け、内容等を吟味しながら、改めて検討して参りたいと考えております。

青木委員長

では、次に文京公民館小倉館長、お願いします。

小倉文京公民館長

第21回文京公民館まつりは、公民館利用団体サークルによる実行委員会を中心に、少しでも明るくをテーマに「明」を掲げ、2年ぶりの開催となりました。感染対策を講じながら、10月28日(金)29日(土)30日(日)の3日間、実施いたしました。

展示に関しては、幼・小児童作品を省き、サークルによるものは、10月28日(金)から29日(土)までの2日間行い、期間中は幅広い世代や地区外からも見学に来られ、より多くの人にサークルや子どもの作品をご覧いただくことができました。

また、最終日の10月30日(日)は、映像発表も含め、11サークルの芸能発表を館内で行い、日頃の成果をご覧いただくことができました。

また、イベントについても、飲食はせず、29日(土)30日(日)の2日間にわたり、輪投げ・水風船・バルンアート・パン・駄菓子販売・スーパーボールすくい・ヨーヨーつりなどを行い盛況でした。良い天気にも恵まれ地域内外の方々、1,126名の参加をいただきました。

反省会では、展示は余裕をもって取り組めた。芸能発表は、普段の部屋で緊張なく行え、スムーズであった。イベントは時間が短く、少し寂しかったという感想が聞かれました。

いずれにしましても、まつりを通して、地域の結びつきや、文化的な活動の魅力をいっそう発信していけるよう、来年度に向け、方法や活動内容等を吟味しながら、改めて検討して参りたいと考えております。

青木委員長

では、次に八幡台公民館石井館長、お願いします。

石井八幡台公民館長

第39回上烏田・八幡台・羽鳥野地区文化祭は、「みんなで創ろう文化と人の輪」をテーマに10月29日(土)・30日(日)に3年ぶりに開催されました。天候にも恵まれ、2日間で1,200人を超える地域の人たちが訪れ、ふれあいと交流が図られました。

コロナ対策、感染防止対策としては、前庭にテントを張り、受付を設け、記名、消毒、検温、リストバンドの配布と、徹底できました。

文化祭は、玄関前でオープニングセレモニーを行い、実行委員長の開催宣言と太鼓演奏で始まり、館内にはところ狭しと、まちづくり協議会はじめ、公民館で活動するサークルや、八幡台幼稚園、八幡台小学校の作品が展示されました。また、太極拳やフラダンス、子どもたちのヒップホップダンス、ギター演奏など、芸能発表も行われ、前庭では模擬店が出店されました。

今回の文化祭の実施期間や実施内容、参加団体は、コロナ前より縮小した形になりましたが、実行委員会を組織し、例年同様、展示、芸能発表、イベント部門と、3部門が実施できました。また開催までの会議や準備、公民館敷地内の清掃美化活動にもたくさんの方々に参加してくださいました。3か月に渡る活動を通して、地域住民の交流・つながりが広がり、深まった地区文化祭になりました。また合わせて、私たち公民館職員も地域の方々とは知り合う、つながる良い機会を得たと感じております。

青木委員長

では、次に東清公民館佐々木館長、お願いします。

佐々木東清公民館長

第39回東清川地区文化祭は、「東清文化 みんなで育む 地域の絆」をテーマに10月29日(土)～30日(日)の2日間、東清公民館及び東清小学校の体育館を会場に3年ぶりに開催されました。

新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、模擬店やお楽しみ抽選会、卓球フェスティバル等のイベントの実施が見送られたほか、芸能発表も午前中のみで開催となるなど、全体的に規模を縮小したものとなりましたが、地区文化祭を通じて、公民館利用サークルや地域で活動する各種団体・個人の日頃の文化活動の発表と交流、そして、地域住民のつながり、心と心のふれあいの場となりました。

特に今年度は、公民館開館40周年記念ということで、展示部門では、特別展示「東清川ふるさとマップ」として、公募で募集した「次の世代に残したい“地域の宝”」の紹介やシールアンケート、石造物調査隊による調査のまとめの資料が展示されるとともに、「笹子神楽」の獅子頭や地区内で最も古い石造物である椿の興教寺の「板碑」等の貴重な郷土資料が特別に出品されました。また、発表部門では、「笹子神楽」の太鼓や獅子舞が映像で紹介されたほか、地元のシンガー・ソングライター 松本 佳奈さんによる「ファミリーコンサート」が行われ、大変好評でした。

さらに新たな試みとして、小学校の体育館において、まちづくり協議会の防災部会を中心に、非常食をはじめ非常備蓄品の紹介や段ボールのパーテーションや間仕切りテント等の防災関係物品の展示が行われたほか、災害備蓄倉庫や行政防災無線機等を巡る防災スタンプラリーが実施されました。

青木委員長

では、次に清見台公民館多賀館長、お願いします。

多賀清見台公民館長

地元自治会・地域団体・公民館及び体育館の利用団体で構成されます清見台地区文化祭実行委員会の主催による『伝えよう つなげよう 世代を超えて』をテーマに、第38回 清見台地区文化祭は、感染対策を施しながら、昨年に引き続き、開催いたしました。

今年度も、対面による発表会、模擬店はありませんでしたが、10月29日(土)から30日(日)の2日間にわたり、サークル映像発表・作品展示を開催いたしました。

サークル映像発表展示については、日頃の公民館活動の成果をスライド映像として、合唱・歌謡曲・空手の3団体をご覧いただくことができました。

10団体による作品展示については、幼稚園・小中学校作品展示をはじめ、サークル作品展示の絵手紙・墨絵・パッチワーク・写真や個人作品の絵画・書道の展示を行いました。文化祭当日は、良い天気にも恵まれ、約800名の地域内外の方々に鑑賞していただきました。

文化祭を通して、清見台地区の文化の振興と住民相互の交流を深めるという目的を十分に達成することができたものと考えております。

青木委員長

ただいまの館長の説明に対して、ご質問やご意見や気づいたことについて、挙手のうえ、氏名を述べてから発言をお願いいたします。

発言無し。

青木委員長

では続いて畑沢、岩根西、西清川、波岡、桜井公民館お願いします。

はじめに、畑沢公民館松本館長、お願いします。

松本畑沢公民館長

第38回畑沢公民館地区文化祭の開催状況についてご報告いたします。当地区は、地区やサークル・団体のご理解とご協力の下、昨年度の開催経験を踏まえ、さらに現在の感染対策を講じて開催することができました。主な開催部門となった展示は、参加団体が昨年度よりも増加し、平常時に近い15サークルが参加しました。

イベントについては、新たに初心者向けの体験会を開催した社交ダンスは、これをきっかけに新たなサークル加入者を獲得することができました。模擬店については、可能な販売の実施や、飲食は外に休憩コーナーを設ける等、賑わいを創出することができました。

なお、敬老会が中止となり同時開催をしている芸能発表を中止としたため、希望する団体を録画し成果発表として木更津市プロモチャンネルからYouTube配信を実施しました。

また、サークル・団体の活動中の写真・動画を編集し、同じく配信を実施しました。これは、サークル・団体名だけではわからなかった活動内容を広く見ていただくことが出来るようになったことや、自らの活動を振り返る機会となりました。

実績報告書にそれぞれQRコードを記載しております。スマートフォンの写真モードでQRコードにピントを合わせて指でタップしていただくとすぐに見ることができますので、試してみてください。

加えて、近年ますます高齢化の進むサークル・団体が文化祭を開催する際の一番の心配事は、準備・片付け(特に展示パネルの設置・撤去)に自身が対応できないということですが、今回地区と畑沢中学校PTAおやじの会に呼びかけたところ、快く応じていただき非常に円滑に進行することができました。また、開催中は、小・中学生の作品を見学する家族連れや久しぶりの再会に喜ぶ地域住民の様子が見られ、全体を通して地域住民の交流の輪が広がりました。

総じて、関係者の協力の下、全ての開催日が見事な晴天に恵まれ、地区に元気を届けることが出来ました。

青木委員長

では、次に岩根西公民館前田館長、お願いします。

前田岩根西公民館長

岩根西地区文化祭は、今回で37回目を迎え、「地域の輪、未来へつなぐ文化祭」をテーマに10月29・30日に実施されました。

本年度は、芸能部門の発表については、大型モニターによる映像での発表を行うことにし、市制80周年と関連させて、岩根西地区の歴史について、地域の様子や地元の方々も知らない様々な建物や場所についての特に紹介をするビデオ作品を作り上映しました。長年、木更津市のボランティアガイドをされ、今年93歳になる服部量三さんという、地域の生き字引のような方をお願いして、作成したところたくさんの方に見てもらうことができ、ぜひ、データを譲ってほしいという方も多くいてうれしい悲鳴でした。

また当日、まちづくり協議会を中心に「岩西おしゃべりカフェ」を実施と地域のボランティア組織である「ジェスパル」が、保健所の指導のもと、焼き芋や餅をついて参加者に配っていただき、参加者はみんな笑顔でした。展示部門では、各サークルの作品や写真や手芸、工芸等の個人作品、地域の保育園、小・中学生の作品を展示しました。

今年度、こういう形ですが、地域とともにできることをしっかり行ったところ、700人以上の参

加者がありました。コロナ禍前の参加者が900人くらいだったので、今回、来年度以降に繋がっていける充実した文化祭になったと思っています。

青木委員長

では、次に西清川公民館江尻館長、お願いします。

江尻西清川公民館長

『伝えていこう文化の祭り 深まるきずな地域の力』をテーマに、第33回西清川地区文化祭を3年ぶりに開催いたしました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、サークル・小中学生・一般公募の作品展示を中心に、陶芸市・サークル活動動画の放映など、10月29日(土)から30日(日)の2日間に亘り開催いたしました。

今年度は、例年行っていた芸能発表や模擬店の開催を見送ったことから、来場者の減少が懸念されましたが、2日間で230名の方に来場していただき、安堵したところでございます。

日頃からのサークル活動の成果の発表の場として9サークルの作品展示を初め、中でも、3年ぶりに開催した陶器市では自慢の作品とあって、多くの方が手に取り気に入った作品を購入されるなど、予想以上に盛況でした。

また、西清小・祇園小・第三中学校の作品展示では、多くの児童・生徒や家族連れが来場し、自身や友人の作品を鑑賞していました。

今回初めて実施いたしましたサークル活動の動画放映では、視聴した後に公民館での「サークル活動一覧表をいただきたい」、「活動内容の見学の申し入れしたい」などの声が多く聞かれ、公民館活動に対し興味を持っていただくきっかけとなったことから、地域住民の交流の場として、引き続き、サークル活動の充実、拡大に繋がっていければと感じたところでございます。

青木委員長

では、次に波岡公民館河野館長、お願いします。

河野波岡公民館長

10月29日、30日の2日間にわたって、第30回、波岡公民館地区文化祭を実施いたしました。2日とも好天に恵まれ、参加団体67団体、参加者も含めて来場者は900人以上となるなど、大変盛り上がりしました。

実施内容ですが、(1)作品等の展示、(2)芸能発表は希望する団体のみとして(3)イベントは主にサークル体験やスタンプラリーなど(4)は飲食を除く模擬店 この4つの部門で実施いたしました。終了後のアンケートをみると、「コロナ禍の影響で交流の機会が途絶えていたが、地域を挙げての行事として開催できてよかった。」「来年は飲食を伴う模擬店や花苗の販売などが復活するといいな。」という前向きな意見が多数寄せられました。

ご存知のように、波岡地区は市内で最も少子高齢化が進んでおり、この2年間、地域の行事が軒並み中止となりました。そのような中での文化祭の開催には、賛否両論、様々な意見がありました。

しかし、実行委員会で、開催の方向で決まると、実に多くの方が協力を申し出てくれ、地域のまとまりの良さを感じました。いかに地域の皆さんもこの文化祭を待ち望んでいたのかが、よくわかりました。

さて、今回の文化祭の特徴の一つに、「子供の参加」が増えたことがあげられます。青少年相談員さんが中心となって進めてくれたスタンプラリーでは、2日間で100人、実に波岡小の約半分を超える子どもが集まり大盛況でした。その他にも、サークルのイベントでも、今年は子供の体験教室を初めて取り入れてみましたという声や、グラウンドでは、ボランティア団体さんが、子供を対象にした体験教室を開催してくれ、こちらも長蛇の列ができていました。

普段、公民館の周りで見かけない子供たちが、工夫次第でこんなに集まるのだということに改めて気づかされました。

文化祭直後の実行委員会の反省会でも、来年度に向けて前向きな発言が相次ぎました。中でも「文化祭がゴールではなく、文化祭をスタートにしよう。」という声が印象に残りました。「文化祭が終わったからそれでよし。」とせず、これをきっかけにして、「地域でも動き出そう、地域を活性化させていこう。」という合図に聞こえました。

そのためにも、コロナ感染症対策にしっかり取り組みながら、赤ちゃんから高齢者までが、気軽に地域の行事に参加したり公民館を利用したりしていただけるように、特に本館の課題である子供やその親世代の若い利用者層の拡大に向けて、魅力ある取り組みを企画・発信していくことの大切さを強く感じました。そこで、1月に、波岡公民館の長所である広いグラウンドを利用して、千手正教講師を招き、親子で「星空観賞会&焚き火イベント」を予定しております。

文化祭を通じて、5年後10年後の波岡につながるができるよう、今、何ができるかを考え実践していきたいと思います。

青木委員長

では、次に桜井公民館市原館長、お願いします。

市原桜井公民館長

10月22日(土)・23日(日)の両日、「集まろう”桜井祭”へ」をテーマに、桜井町内会連合会を中心とした地域住民の方々、地域の各種団体、公民館利用団体・サークル連絡協議会の方々によって構成された実行委員会が企画・運営を担う「第21回桜井地区文化祭」が開催されました。感染症拡大防止を第一に考え、展示部門のみの開催でしたが、490名の方々にご来場いただくことができました。

展示参加サークル7団体、ビデオ放映サークル1団体、園児児童作品展示113作品でした。また、特別展として、公民館だよりに永年掲載していただいている「さくれえよもやま話」の原画展、昭和42年の桜井地区航空写真、厳島神社(桜井水神宮)社殿彫刻等、桜井の歴史を身近に感じていただける展示を行いました。特別展には、特に若い世代の方々から多くの反響をいただき、「地域の歴史を知れてよかったです。」、「もっと桜井を知りたくなりました」などの声が聞かれました。

来場者へのアンケートをしてみると、すべての方々が好意的な感想を持たれており、「展示のみの開催で少し寂し感じはするが、ようやく桜井でも文化祭が開催することができて、大変うれしい」という感想や「来年は普通の年の普通の文化祭ができると良いですね」といった来年度へ向けての期待を示す内容が目につきました。

青木委員長

ただいまの館長の説明に対して、ご質問やご意見や気づいたことについて、挙手のうえ、氏名を述べてから発言をお願いいたします。

清水委員

新型コロナウイルス感染対策を、それぞれの館で実施していたようですが、文化祭の期間中の感染はなかったということでしょうか。

水越中央公民館長

公民館では、文化祭以前から、感染症対策については実施しており、マスクの着用、消毒の実施などを継続的に行ってきました。また利用者の方々も、感染症対策については意識的、協力的であり、文化祭においても、実行委員会を中心として、変わらず感染対策を行ったことが感染者を出さなかった原因であると考えます。

加山委員

昨年は、ほとんどの公民館で実施されなかったが、今年度は全館で実施され、フルメニューのところもあれば、制限をしたところもある。これは何か、ガイドラインというか全体での指示などはあったのでしょうか。

水越中央公民館長

実施にあたっては、市のガイドラインに沿いながら、具体的な内容については、それぞれの実行委員会で精査していただき、実行したところでございます。

青木委員長

ほかにごいませんか。

では続いて、金田地区については、本日金田地域交流センターから江澤所長がご出席いただいております。江澤所長からお願いします。

江澤金田地域交流センター長

金田地区文化祭についてご報告いたします。開催日については、10月30日(日)1日の開催となります。協力団体については、資料にある通りやや減少しております。来場者については、1200名と増加をしました。来場者の層を見ますと、若い人が多くなっていますので、来年度は多

くの世代の方に一日楽しんでいただけるような、取り組みを提供していきたいと考えています。また、来場者が700名を超えると駐車場問題が発生しますので、それについても検討していく予定です。今回の文化祭を実施してみて、文化祭の数日前に訪ねてきた小さな子どものお母さんから「文化祭って何ですか」という質問をいただいた。若い世代には、文化祭そのものについても説明、周知していくのが指定管理者の使命でもあるなと感じました。

資料の裏面には、交流センターの活動についても掲載しました。併せてご覧ください。

青木委員長

ただいまの説明に対して、ご質問やご意見や気づいたことについて、挙手のうえ、氏名を述べてから発言をお願いいたします。

特に発言無し。

小倉さん、文化祭視察に参加されて、いかがだったでしょうか。

小倉委員

視察に参加して、皆さんの文化祭を見せていただきました。みなさん工夫されて、盛況にやられているなあと感じました。たぶん皆さんの努力、公民館の力添えがあったのではないかと思います。コロナの中で、それぞれができないこともありました。これがおさまればいつもの文化祭ができるのではと感じました。とても勉強になりました。

青木委員長

実形さん、いかがだったでしょうか。

実形委員

今回初めて市内の文化祭を回らせていただきました。まわらせていただいて感じたのは、それぞれ公民館が地域にとって必要なんだということです。

青木委員長

文化祭の視察の結果について、事務局お願いします。

事務局

当日は13館を回るハードスケジュールでしたが、無事に終了することができました。慌ただしかったことは今後の課題ですが、皆様のご協力で、終えることができました。ありがとうございました。

青木委員長

ありがとうございました。当日は、各地域の特色や取り組みなどを地域の方々に話を伺いながら予定どおり拝見することができました。公民館の地区文化祭運営が地域の方々の交流と文化の継承につながり、地域づくりの一助となっていることが実感できたと思います。今後も、それぞれの地域で、実りのある取り組みが展開されることを期待しております。よろしく申し上げます。以上で、議案に関する議事を終了いたします。

青木委員長 次に、報告事項に移ります。一つ目の報告事項ですが、
(1)各選出委員からの活動報告です。

木更津市生涯学習推進協議会 秋元委員

木更津市社会教育委員会議 鶴岡委員

木更津市図書館協議会 小山委員

それぞれより、ご報告をお願いいたします。

それぞれの委員から、報告。

青木委員長 次に、(2)令和4年度君公運審連・君公連合同研修会について、事務局お願いいたします。

事務局より説明

青木委員長 次に、(3)各種表彰の受賞について、事務局よりお願いいたします。

事務局より説明

青木委員長 最後に、その他で何かございますか。事務局の方で何かありますか。
なければ、ここで、約10分間休憩とします。

10分間、休憩

青木委員長

これから、グループトークを始めます。進め方については、事務局から説明をします。

事務局

グループトークについて説明。時間配分、グループ分けは資料のとおり。

テーマについては、①公民館を取り巻く現状と課題について ②中央公民館の吾妻公園への移転について となります。それぞれのテーマの取り上げ方は、グループにお任せします。

トークに入る前に、公共施設マネジメント課から、中央公民館の移転についての進捗状況を報告していただきます。

公共施設マネジメント課

配布資料に基づき、説明

事務局

それでは、これから16時15分まで、グループトークを行います。進行役については、常勤の館長をお願いをしています。よろしくお願いします。

A から D の 4 つのグループに分かれ、自由に討議をする。

事務局

それでは時間になりました。グループトーク、お疲れさまでした。ここからは、各グループからどんな話が出たか、報告をいただきたいと思います。まずは、A グループお願いします。

市原桜井公民館館長

A グループです。まずは、移転する中央公民館のことについて話し合いました。その中で、中央公民館が中央地区の公民館であることを考えると、利便性を第一に考えてほしいという意見が出ました。なので、公運審委員の気持ち、職員の気持ち、そして地区住民の気持ちを無視してほしくないと思います。そしてこれは公民館と離れますが、やはり駐車場が狭いよね、そしてホールの定員が700名では少ないよね、という意見が出ました。それから中央公民館が移転することで、駅の周辺に高校生などが多く集まっているのですが、図書館なども含めて、このような若い人たちの居場所が少なくなってしまうのではないかと心配しています。

また、公民館の今後についてですが、公民館の地域配置、例えば請西地区などあるべきところがないという課題があげられました。それから若い人たちの学習、社会教育なども考えていかななくてはならないことも挙げられました。若い人たちは自習スペースだけの利用でなく、今公民館利用の大半を占める高齢者とのふれ合いなどが大事になってくるのではないかと思います。以上です。

事務局

ありがとうございました。続いて、B グループお願いします。

星野富岡公民館長

B グループです。時間の都合で、「公民館の現状と課題」についてのみ話をしました。どこの公民館でも、サークル数、会員数または利用者数の減少があげられています。その中でも、まちづくり協議会は積極的な活動をして地域を盛り上げてくれているという意見がありました。ただ、この活動の担い手を次の世代へどう継承していくか、という課題があるということも挙げられました。それから、地域の課題というと、自治会に入らない人が増えていること。利用はいろいろ

あるようだが、会費に見合った活動になっていないという理由で、特に新しい住民の加入率が低くなっている。そのことが地域での活動に影響を及ぼし始めているということも挙げられました。公民館に対しては、コミュニティカフェやサロンなど、若い世代も含めてふらっと立ち寄れる機会があることはいいことだという意見も出ました。それから「避難所」としての公民館については、行政から備蓄品が多く配布されるが、公民館によっては置き場所がなくなっている。今後対策を考えた方がよい。また、公民館が有料化になってから少し敷居が高くなったという意見もありました。以上です。

事務局

ありがとうございました。続いて、Cグループをお願いします。

岡田中郷公民館長

Cグループです。公民館の現状と課題については、まず公民館という存在を知らない人が多い。広報誌だけでなく、様々な方法で公民館のやっていることを知ってもらった方がよいという意見がありました。また、有料化したので施設、設備、駐車場の整備なども必要でないかということも挙げられました。また、まちづくり協議会や住民会議など地域の組織が多くありますが、メンバーが固定化しているのが課題ということも挙げられました。

次に、中央公民館についてですが、中央公民館が交流センター的なものになってしまうのではないかと心配があり、あくまでも公民館という位置づけで取り組んでほしいという意見がありました。以上です。

事務局

ありがとうございました。最後に、Dグループをお願いします。

佐藤鎌足公民館長

Dグループです。まず、公民館の現状と課題についてですが、共通的には利用者の高齢化、固定化、いかに若い世代を取り込むか、そこには公民館の活動だけではなくて、地域での活動も大事になってくるかと思えます。それには、まちづくり協議会との連携、そこで市の公民館としての役割が大事になってくるのではないかとことがあげられました。そんな中で、どの施設も老朽化しており、建て替えるのだったら統廃合という流れを危惧しているという意見もありました。それから一部ですが、公民館のエリアと区長会や小学校のエリアが一致しないことが悩ましいという意見もありました。

次に、中央公民館についてですが、ややいまさらということではありますが、なぜ複合化なのか、それぞれの特性を生かした建設はできないのか、またなぜこの場所なのか、災害などを考えても課題があるのではないかと意見がありました。また立地についても、波岡、八幡台、畑沢などからすると、やはり遠い、駅に出るのだけでも遠いのに、さらに足が遠のくのではないかとことが上がりました。それよりは、各公民館の使い勝手を良くしてほしいという意見もあり

ました。中央公民館が教育施設として、生涯学習の拠点となるようにしてほしいということでまとまりました。以上です。

事務局

ありがとうございました。それではいくつか中央公民館にかかわるところ、公共施設マネジメント課にお答えいただければと思います。

公共施設マネジメント課

いろいろご意見ありがとうございました。皆さんの意見を参考にしながら、計画づくりを進めていきたいと考えております。まず、場所についてですが、私たちも認識はしておりまして、イオンからの巡回バスを吾妻にも回したいと考えています。また、駐車場が狭いという点でございますが、570 台を想定していますが、図書館、ホール、公民館などの利用を見ても足りるのではないと考えておりますが、ご意見が多いようなら増やすということも検討したいと思っております。次になぜ複合化なのかということでございますが、市の公共施設再配置化計画などに基づいて、できるだけ延べ面積を抑えることを念頭に置いております。その中で「複合化」というのが一つのキーワードでございまして、共有スペースを設けることで面積を圧縮したり、稼働率を上げたり、それぞれの施設利用者がほかの機能、場所にも行けるということで、メリットがあるのではと考えております。また、コスト面につきましても、ホールは長らく市民会館が使えてなかったこともあり、ぜひこの防衛省のまちづくり補助金を利用して建てたいと考えており、これを機会に老朽化している図書館や間借りをしている中央公民館との複合化を考えたところでございます。また、駅前に高校生などが多く集まるということでございますが、今中央公民館の自習スペースを利用しているということでございますが、これについては西口駐車場のところに新庁舎の建設計画がありまして、その中に同じような交流スペースを設けようと考えております。最後に、中央公民館をきちんと維持してほしい、ということですが、こちらについても、しっかり維持できるように考えていきたいと思っております。以上です。

事務局

ありがとうございました。コロナ禍ということもあり、このような話し合いの機会をなかなか設けられませんでした。今回やってみて、やはり必要だなと再認識をしました。また、機会を作って皆さんとお話をできる機会を作りたいと思っております。

それでは、これもちまして、令和4年度第3回の定例会を終了とします。

令和4年12月21日

議事録署名人 木更津市立公民館運営審議会委員長 青木 健